

令和5年10月16日

デジタル技術の活用及びDX推進の取り組み状況

有限会社古谷動物病院

1. デジタル技術の重要性

デジタル技術の活用は、顧客満足度を向上させ、当社の競争力に対し好影響を及ぼす非常に重要な要素だと考えています。

具体的には以下の3点より、競合優位性が高まります。

A) 労働生産性の向上

『富士フィルムメディカル DR装置 CALNEO Smart V システム』は既存のCRシステムのレントゲン機器とは異なり、DR(デジタルレントゲン)システムの機器です。デジタル技術によって、従来必要だったカセットの交換という人力に頼らなければならないプロセスを排除し、連続撮影を可能にしました。この機器の刷新によって検査時間の短縮を行うことができ、労働生産性が向上します。

B) 見える化の推進

『富士フィルムメディカル DR装置 CALNEO Smart V システム』は『Smart QUALITY』などのデジタル技術が搭載されており、高画質でノイズが少ないレントゲン検査画像が実現されています。これまで視覚的に把握できなかったペットの病変などを見える化し、診断することができるようになります。

C) 安全性の向上

医療現場において、安全性を向上させ医療ミスの可能性を極限まで低くすることは、レピュテーションリスクを低減するためにも非常に重要です。デジタル技術により術中の作業を自動化することで、人為ミスがなくなり、安全性が向上します。

2. 上記を踏まえた弊社の経営ビジョン

「デジタル技術を十分に活用して、高度な検査を提供する動物病院へ」

当院は本事業を通じて診断室の刷新を行います。本診断室ではデジタル技術を用いた設備を導入し、高度な検査を提供します。デジタル技術の活用により当院内と患畜、飼い主様にとって多くのメリットを持ちます。顧客満足度の向上によって患者数が増加し、経営面で弊社に寄与します。

3. 当社の経営ビジョンの実現のための戦略

- 診断室以外にも今後継続的にデジタル化の検討
- デジタルリテラシーを強化する教育
- 上記をより推進するための外部専門家との連携

令和5年10月16日

4. 戦略推進のための組織体制

